

『Mind Charging』

第194回 発行：入試広報室 発行日：令和3年1月22日

武井壮の名言



0より-1もあった方がいいですね。
マイナスを怖がってやらない人がすごく多いけど、
0が一番ダメで。+1も-1も絶対値のように
両方プラスになると思ってるの。

この言葉には次のように続きがあります。『夢って、向かってみるとダメだって事多いじゃないですか。みんながみんな夢を叶えられる訳じゃないし。でも、進んだ分までは進んでるっていうのが現実なんで。その進んだ分までは全部武器なんです。今日努力したら、今日一日分近づくから。近づく事が夢っていうのは一番大事な事で。動かないって事が最悪。後ろに進んでも前に進んでも進んだ分は、両方の幅、自分の人間としての幅を広げてくれるから。』

このコラムでも成長していく上での“成功体験”の重要性は何度も述べてきましたが、今回の言葉によって改めて“失敗すること”の大切さについて考える良いきっかけになりました。私自身の人生を振り返ってみても失敗は非常に多くありました。現在も失敗することはありますが、確実にその数は減ったと思っています。失敗の数が減った理由としては、様々な経験によって徐々に判断力がついてきたことが挙げられます。そして判断方法は“想像力を働かせる”ということです。自分が起こそうとしているアクションによってどのような展開になるのか、自分も含めた大切な仲間たちが幸せになれるのか。そのように考えられるようになった理由は、今回の言葉にあるように成功(プラス)も失敗(マイナス)も自分の成長に対しては両方プラスになっているということなのだと思います。続きの言葉にある“後ろに進んでも前に進んでも進んだ分は、両方の幅、自分の人間としての幅”という言葉がみなさんのパワーとチャレンジ精神を後押ししてくれるものと思います。今の失敗は将来への投資です。大いにチャレンジしていきましょう！(編集委員：入試広報室 鈴木)

武井 壮(たけい そう、1973年5月6日 -)は日本のタレント、元陸上競技選手。陸上競技・十種競技元日本チャンピオン。引退後はタレントとして活動し、「百獣の王」を目指している。SPECIALIST JAPAN 所属。(Wikipedia 参照)